



# 保戸島空襲「慰霊の集い」

## 現地で学ぶ機会に初企画

### コロナ禍で平和授業中止の市内児童20人

【津久見】津久見市保戸島で25日、1945年の保戸島空襲の犠牲者を追悼する「慰霊の集い」があった。新型コロナウイルス禍で島での平和授業を受けられなかった小学生に、現地で学ぶ機会を設けようと初めて企画。市内の約20人が参加し、悲惨な戦争の歴史を知って平和への誓いを新たにしました。

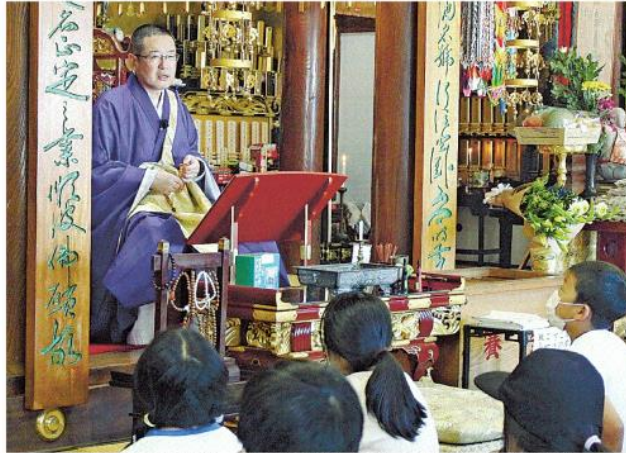
保戸島空襲は7月25日、爆撃機や機銃掃射による当時の保戸島国民学校（現 保戸島小・中）を米軍機が27人が命を落とした。

### 平和への誓い新たに

保戸島小・中を除く市内の小学校4校は毎年、3年生が島を訪れていた。コロナ禍で2020年以降、平和授業が中止され経験できなかった児童がいたため、市民有志が慰霊の集いを計画。参加者を島へ引率した。海徳寺で営まれた法要には、地元住民約20人と共に

参加。鈴木真友住職の「小さな田舎で起きた悲惨な出来事を少しでも多くの人に知ってもらいたい」という言葉に耳を傾けた。終了後は保戸島小・中校内にある慰霊碑に立ち寄り、花を手向けて冥福を祈った。

千怒小6年の戸田葵唯さん(11)は「国と国の争いに子どもたちが巻き込まれた。戦争の恐ろしさと平和



「空襲のことを少しでも多くの人に知ってほしい」と児童に語りかける鈴木真友住職（左奥）＝津久見市保戸島の海徳寺



慰霊碑の前で手を合わせ、冥福を祈る児童ら＝津久見市保戸島の保戸島小・中



津久見市民図書館は保戸島空襲にまつわる資料など約40点を展示

紹介している。問い合わせは市教委生涯学習課（0972・82・9528）。（大海すみれ）

の大切さが分かったと話した。

津久見市民図書館では、企画展「戦争の記録から学ぶ平和の尊さ」が開かれている。8月20日まで。入場無料。

戦争の記憶を継承するため、市教委が2014年から毎年開催している。会場にはパネルなど約40点を展示。保戸島空襲にまつわる資料の他、米国から贈られ、太平洋戦争中も処分されず堅徳小に残っていた「青い目の人形」なども紹介している。



〔問①〕 ( )に正しい言葉を入れましょう。

「慰霊の集い」が行われた津久見市 ( ) 島では、2020年以降、

( ) で島の平和授業が中止され経験できなかった児童がいた。

〔問②〕 海徳寺の住職が参加者にどのような話をしましたか？  
記事から書き抜きましょう。

〔問③〕 あなたの地域や学校ではどのように戦争の記憶が継承けいしょうされていますか？

〔問④〕 あなたが受けた平和授業や学習を通して感じたことを書きましょう。